六甲山大学
ROKKO-SAN DAIGAKU

六甲山にまつわる自然、環境、文学、食などの多彩な催しを大学のカリキュラムに見立てて情報発信する「六甲山大学」。山の旬の情報を通して、六甲山の魅力に迫ります。　（毎月第３月曜日に掲載します）

霧に包まれ 人馬一体の妙技
六甲山牧場で流鏑馬

来場者に流鏑馬を披露する前田浩樹さんと馬のヤスヒデ＝いずれも神戸市灘区六甲山町中一里山

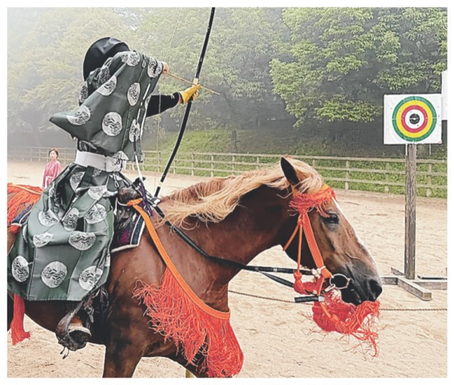
五穀豊穣や天下泰平を祈願して行われる「流鏑馬」。古式ゆかしい弓馬術で、装束姿の射手が馬上から矢を放つ。本来は武士のたしなみだったそうで、現代では神事、伝統文化として全国の神社で継承されているが、実は六甲山でも見ることができる。

神戸市立六甲山牧場では、年間を通じて多彩なイベントがあり、その中の一つが流鏑馬。先日初めて見に出かけた。その日は、たまたま神秘的な霧に包まれ、みやびやかな彩りの平安装束に身を包んだ出演者は、古代からタイムスリップしてきたかのようだった。

射手は、同牧場職員で馬の飼育を担う前田浩樹さん。元々乗馬が得意といい、来場者に馬の魅力を知ってもらおうと、これまでにカウボーイイベントなどを企画してきた。7年ほど前、他のスタッフの助言で、流鏑馬にもチャレンジすることにしたという。

筆者も乗馬を体験したことはあるが、どう考えても馬に乗るだけで難しい。馬上で両手を離すなんてとんでもないと思うのだが、前田さんは馬上で悠々と弓を引き、的を狙う。どこかで特別な訓練をしたのだろうかと思ったのだが、我流で始めたと聞いて驚いた。

飼育職員・前田さん 我流で腕磨く


疾走しながら的を目がけて矢を放つ前田さん

当初は衣装も弓矢もインターネットで買えるものを使っていたが、矢が折れやすいなどの問題があり、公益社団法人大日本弓馬会（神奈川県鎌倉市）に問い合わせ、本格的なものを導入することにしたそう。

射手と馬の息が合うことが大事な要素だが、前田さんと馬の「ヤスヒデ」との相性はバッチリ。ヤスヒデは馬車を引く大型の馬で、とても温厚な性格だとか。日ごろからコミュニケーションをしっかり取ることで、乗っている人の思いと一体化できるヤスヒデも素晴らしい名馬だと思う。

目を見張るような人馬一体の妙技は、最近は外国人客にも人気。開催前からよく見える場所に陣取っている人も多いそうだ。

毎月2回ペースで日曜日に実施され、次回は9月21日、10月5日、19日。いずれも午後0時15分から北エリアのホースリンクで開催。見学無料（入園料要）。開催スケジュールは、同牧場ホームページ内「イベントカレンダー」で確認を。同牧場☎078・891・0280（火曜定休）

根岸真理が案内 山の四季便り

ねぎし・まり　アウトドア系のフリーライター。1961年、神戸市須磨区生まれ。六甲山を活動拠点とし、六甲山大学広報専門委員。著書に「六甲山を歩こう！」など。

環境学部

◆ TOYOTA SOCIAL FES!! 2025　「都市山」六甲山について学び、貴重な自然を守り継ごう　10月26日11～13時（受け付け10時半）、再度公園芝生広場（三宮バスターミナルより市バス25系統「再度公園」）。六甲山の自然を未来へ引き継ぐための課題を学ぶ。森林再生の歴史と保全について話を聞くほか、伐採した竹材を利用したモルック体験や防災クイズなどを実施。定員100人、10月13日までにホームページから要予約＝**申し込みはＱＲコードから**（多数の場合は抽選）。小学生以下の参加は保護者同伴。動きやすく、ぬれても良い服装で。帽子や着替え、雨がっぱ、飲み物、マスクなど持参。小雨決行、荒天時は11月８日に延期。神戸新聞社メディアビジネス局企画推進部☎078・362・7077

◆再度公園で森の手入れ　９月20日、10月19日10～15時（受け付け９時半）、再度公園ログハウス前集合（三宮バスターミナルより市バス25系統「再度公園」）。森に向かい、樹木伐採や下草、ササ刈りなどの基本技術を習得＝**写真**。午後は森の手入れ、木工、自然観察、ガーデニングから選択。講師はこうべ森の学校スタッフ。初心者講習あり。長袖、長ズボン、トレッキングシューズ（運動靴可）着用。弁当、飲み物、帽子、軍手、タオル２枚持参。小学４年生以上対象（小学生は保護者同伴）。無料。予約不要（５人以上の団体や初めての参加者は要連絡）。朝の天気予報で兵庫県南部の午前中の降水確率50％以上は中止。こうべ森の学校の坂田さん☎078・371・5937、メールshinrin_seibi@city.kobe.lg.jp

総合学部

◆保久良夢ひろば　秋のてふてふまつり　10月４日10～12時、保久良夢ひろば（阪急岡本駅徒歩30分）。フジバカマに飛来する、日本で唯一の渡りチョウ「アサギマダラ」＝**写真**＝を探して歩く「てふてふツアー」（レクチャーあり）や、チョウの折り紙作り、塗り絵、間伐材を使った工作など。子どもや家族連れ向け（幼い子どもは保護者同伴）。山で活動しやすい服装、飲み物持参。無料。申し込み不要。雨天は翌５日に実施。神戸市総合コールセンター☎0570・083・330または078・333・3330

◆近代化産業遺産と風の教会を巡るハイキング　六甲山名建築探訪ツアー　10月２、23日、11月13日、９時半～10時に六甲ケーブル「六甲山上駅」集合。同駅―記念碑台バス停―ヴォーリズ六甲山荘・室谷邸記念館―県立六甲山ビジターセンター（記念碑台）―六甲山サイレンスリゾート（旧六甲山ホテル見学・昼食）―風の教会―六甲ガーデンテラス・自然体感展望台六甲枝垂れ―同駅（16時50分ごろ解散）。神戸で活躍する建築家・長尾健さんのガイド。小学生以上対象。5500円（施設入場料、昼食代含む）。歩きやすい靴と服装で。各日定員25人、実施日２日前までにＨＰまたは電話で要予約。雨天決行、荒天中止。神戸新聞旅行社☎078・362・7174（平日９時半～15時）

ヴォーリズ六甲山荘＝神戸市灘区

催しの日程、内容などは変更される場合があります。お出かけ前に主催者にご確認ください。ホームページhttp://653daigaku.com/

神戸布引ハーブ園／ロープウェイ
秋の味覚、散策楽しんで

標高約400㍍にあり、神戸の海と街並みが一望できるリゾート施設「神戸布引ハーブ園／ロープウェイ」は「ガーデンフェスターオータムーのんびり、ぶらり、秋散歩」を催している。12月７日まで。

「実りの秋」をテーマにしたスイーツなどを味わえる「収穫の秋フェア」や、ドイツの古城をモチーフにした広場に、厳選されたドリンク、オリジナルのハーブソーセージなどが並ぶ「ドイツ祭りービア＆ワイン　フェストー」を実施。約300個のカボチャで園内を飾る「ハロウィンフェア」（10月31日まで）や手ぶらでピクニックを体験できる「ガーデンピクニック」（９月27日～11月24日）＝**写真**＝もある。１日10組、要予約。詳細は同園ホームページ。☎078・271・1160

六甲山ビジターセンター
バードウオッチング体験しよう

六甲山上にある兵庫県立六甲山ビジターセンターで11月３日、野鳥観察の初心者向けに「六甲山でバードウオッチング」が開かれる。小学生（保護者同伴で）以上対象。親子での参加もお薦めだ。

兵庫県神戸県民センター主催。午前10時～正午。日本野鳥の会ひょうごのメンバーから、シジュウカラ＝**写真**＝などの身近な野鳥についての説明を受け、実際に周辺を歩きながらバードウオッチングを体験。双眼鏡の使い方や野鳥の見つけ方を教わる。

無料。定員20人（応募多数は抽選）。10月３日締め切り。豊かな自然がある六甲山で野鳥のさえずりに耳を傾けてほしい。

また、キッチンカーの飲食を楽しめるイベントも同時開催する。詳しくは六甲山ビジターセンターホームページ。

神戸市立森林植物園
多彩な紅葉、ライトアップも

神戸市立森林植物園は10月25日から「植物園のもみじ散策」を開催する。12月７日まで。期間中無休。

園内には国内外原産の紅葉樹木38種約3000本が植わり、ハナノキやイロハモミジ、ハウチワカエデの紅葉、メタセコイア、ラクウショウなどの黄葉、長谷池の水面に映る紅葉を楽しめる。

もみじ森林ガイドツアーなどイベントも多数。11月３日からは一部区域で「紅葉のライトアップ」＝**写真**＝を実施（土日祝のみ）。幻想的な雰囲気に包まれる。12月７日まで。土日祝は午後７時半まで開園（入園は30分前まで）。

また、園内の青葉トンネル内で午後５時まで「山の紅葉」を表現したカラー発光ダイオード（LED）によるライトアップもある。☎078・591・0253

森の力で地域を支える―王子の森から広がる共生のかたち

王子ホールディングス

王子グループは国内外に約64万ヘクタールの広大な森を保有しています。100年以上前から植林活動を行っており、現在では世界7カ国で「王子の森」を管理しています。「木を植え、育て、収穫する」という植林のサイクルを繰り返すことで地域に産業を生み出し、雇用を創出してきました。特にブラジルでは、荒廃地を約20年で緑豊かな森林に回復させています。

また、森林を管理するためには、人々が住み、働くことができる環境の整備が必要であることから、私たちは道路や水、健康、教育などのインフラ整備にも貢献しています。海外では、幼稚園・小学校の運営、医師団の派遣や保健所への医療器具の支援などの取り組みを行ってきました。日本国内では、北海道の社有林で地域の漁業組合も参加する植樹祭を開催したり、2004年から環境教育イベント「王子の森・自然学校」を開催するなど、森林を活用した地域社会への貢献を続けています。

さらに、王子の森での生き物の保全活動にも力を入れています。例えば、イトウ（北海道／猿払社有林）、ヤイロチョウ（高知県／木屋ヶ内社有林）、キウイ（ニュージーランド／Ｐａｎ Ｐａｃ）などの稀少生物をはじめ、様々な生き物の生育環境を整備しています。

王子グループの植林活動は、もともとは紙原料の確保を目的として始まりましたが、森林の可能性を追求し、現在では、木質由来のバイオマスプラスチック、ＳＡＦ（持続可能な航空燃料）、医薬品等を作り出すべく開発を進めています。

私たちは、今後も森林資源に根付いた事業運営を続けることで、持続可能な社会の実現に貢献していきます。

→王子グループが保全する生き物

→北海道で実施した植樹祭の様子

→王子の森・自然学校開催の様子

わたしたちは 六甲大学 の活動を応援しています

領域をこえ 未来へ OJI　Daiwa House　想いをかたちに 未来へつなぐ TAKENAKA　六甲山観光株式会社 KOBE Mt.Rokko ART & TOURISM Co., Ltd.

（順不同）

【実行委員会】六甲摩耶観光推進協議会／摩耶山観光文化協会／灘百選の会／神戸観光局／神戸新聞社　【事務局】神戸新聞地域創造内　e-mail:info-653@kobe-np.co.jp